※令和４年度以降入学生用

学校番号	314

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA１（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

演奏分野では、歌唱（独唱、合唱など）、器楽（ギター、リコーダー、ピアノ、お箏など）を学び、様々なジャンルの曲に取り組みます。音楽を生涯にわたり楽しめるよう技能を身に付けましょう。
創作の分野では、自分で作った、またはアレンジした作品を発表し、作品についてお互いに意見交換する機会を設けます。
鑑賞の分野では、音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学び、音楽作品についての意見交換・意見発表も行います。音楽を通して表現する力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

１　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
２　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
３　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わり、発声や楽器の音色・奏法との関わり、様々な表現形態による音楽表現の特徴について理解している。 音素材、音階や音型、音の重なりなどの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に音楽表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	音楽視野の拡大	①さまざまな歌唱に挑戦(校歌、ひまわりの約束、翼をください、など) ②楽譜の読み方、書き方(楽典) ③CUPSに挑戦 ④鑑賞(組曲『動物の謝肉祭』)	a:曲想と音楽の構造や歌詞や文化的背景との関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、表現している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう表現するかについて表現意図をもっている。また、自分や社会にととっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞や文化的背景、音色、奏法との関わり、および他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト) ワークシート	聴取(実技テスト) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート
	リコーダーの楽しみ	①練習曲 ②天国と地獄 ③グリーンスリーブス など	a:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう表現するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト・発表) ワークシート	聴取(実技テスト・発表) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	ピアノの楽しみ	①練習曲 ②エーデルワイス ③虹の彼方に など	a:曲想とピアノの音色や奏法との関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう表現するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とピアノの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト) ワークシート	聴取(実技テスト) ワークシート	観察 ワークシート
2	歌曲の魅力を探ろう	①この道(日本歌曲) ②野ばら(ドイツリート) ③Caro mio ben(イタリア歌曲) など	a:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト) ワークシート	聴取(実技テスト) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート
	ギターの楽しみ	①練習曲 ②第三の男のテーマ など	a: 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう表現するかについて表現意図をもっている。 c: 曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	聴取(実技テスト・発表) ワークシート	聴取(実技テスト・発表) ワークシート 意見発表	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	和楽器の楽しみ	①お箏演奏に挑戦 （さくら　など） ②箏曲を鑑賞しよう （『六段の調』より「初段」など） ③三線演奏に挑戦 （てぃんさぐぬ花　など）	a：曲想と和楽器の音色や奏法、表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。また、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう表現するかについて表現意図をもっている。また、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c：曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。また、和楽器やその作品の特徴、及び他の楽器と比較した際の音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	聴取（実技テスト） ワークシート	聴取（実技テスト） ワークシート 意見発表	観察 ワークシート
3	重唱・合唱の楽しみ	①美女と野獣 ②故郷 など	a：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、重唱や合唱などの表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、音楽の特徴と他の芸術との関わり、重唱や合唱による表現の特徴、および各パートの役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	聴取（実技テスト） ワークシート	聴取（実技テスト） ワークシート 意見発表	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	ハンドベル演奏と創作表現の探求	①ハンドベルに挑戦 （星に願いを　など） ②創作 旋律を作ろう 旋律の雰囲気を変化させよう など	a: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。また、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律を作る技能を身に付け、創作で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どう演奏するか、またどのように音楽を創作するかについて表現意図をもっている。 c: 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏すること、また音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	聴取（作品発表） ワークシート	聴取（作品発表） ワークシート 意見発表	観察 ワークシート

曲目や内容は生徒の実態や社会状況に合わせて変更する場合があります。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度